

09年度第3四半期決算



2010. 1.29

第3四半期累計では 3年連続の減収・減益、2年連続の最終赤字

国内・海外需要の低迷を受け減収・減益・最終赤字であるが、
第3四半期単期(10～12月)では増益に転じた。

	1Q	2Q	3Q
営業利益(億円)	-31	15	53
対前年増減額(億円)	(39)	(16)	(+ 8)

< 売上要因 >

- ・新築需要低迷の影響を受け、新築向け売上高が大幅減少
- ・リモデルは消費マインドが改善傾向にあり、底打ちをした
- ・海外は米国を中心に売上減少するとともに円高の影響を受けた (中国は堅調な回復基調)

< 利益要因 >

- ・営業利益は、「売上高減少による利益減」が膨らんだものの、
Vプランの一部前倒しによるコストダウン、経費削減により計画以上の利益を達成。

利益の通期予想を上方修正する。(売上は減額)

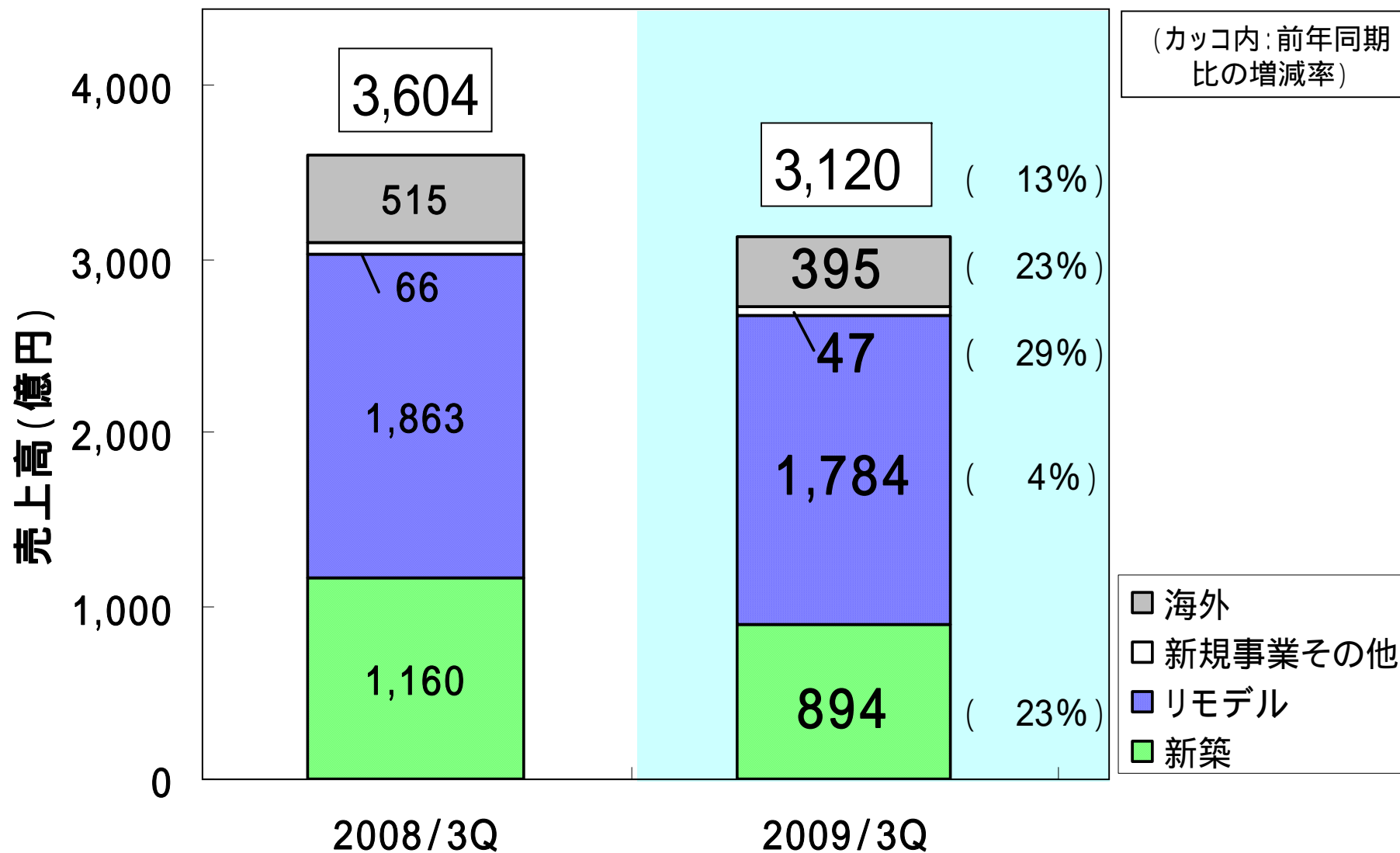
< 理由 >

コストダウン、販管費の削減が進んだこと、および営業外収益が向上したため

単位: 億円 (未満は切り捨て)

	前年度 実績	'09年度 第3四半期		対前年増減 (増減率)
		計画	実績	
売上高	3,604	3,137	3,120	484 (13%)
営業利益	84	29	37	47 (56%)
経常利益	75	25	42	33 (43%)
特別損益	61	15	15	+ 46
四半期純利益	102	19	6	+ 96

需要分野別売上高



主要商品の売上高伸長率

TOTO

主要商品名	対前年比 (増減率)
衛生陶器	14%
ウォシュレット	11%
レストルーム合計	13%
浴室	14%
水栓	14%
システムキッチン	16%
洗面化粧台	11%
バス・キッチン合計	14%
セラミック	50%
合計	13%

営業利益の増減益要因

TOTO

(前年差異)

<単位:億円>

増減要因		第3四半期 対前年増減額	年間 計画
プラス 要因	コストダウン	+ 39	+ 39
	経費削減(販管費など)	+ 89	+ 110
	原材料の値下がり	+ 11	+ 13
	価格改定	+ 9	+ 11
	販売強化投資の抑制	+ 16	+ 22
マイナス 要因	新築売上高の減少	82	101
	リモデル売上高の減少	28	22
	海外売上高の減少	30	13
	販売価格の下落・普及品の拡大	26	23
	在庫削減などによる減産損	28	30
	運用収益減による退職金コスト増	11	14
	その他	6	9
合計		47	16

海外事業 (所在地別セグメント)

TOTO

(単位:億円)			
北中米	'08 3Q	'09. 3Q	増減率
外部顧客への売上	215	143	33%
グループ内取引を含む全売上	216	143	33%
営業利益	17.8	6.6	63%
(為替 円/\$)	103.57	90.21	

(単位:億円)			
中国	'08 3Q	'09. 3Q	増減率
外部顧客への売上	191	167	13%
グループ内取引を含む全売上	289	234	19%
営業利益	51.7	47.2	9%
(為替 円/人民元)	15.55	13.21	

(単位:億円)			
その他	'08 3Q	'09. 3Q	増減率
外部顧客への売上	82	71	14%
グループ内取引を含む全売上	161	133	18%
営業利益	8.5	-2.3	-

(単位:億円)			
合計	'08 3Q	'09. 3Q	増減率
外部顧客への売上	488	381	22%
グループ内取引を含む全売上	666	510	23%
営業利益	78.0	51.5	34%

(単位:百万ドル) <現地通貨での業績>			
'08 3Q	'09. 3Q	増減率	
208	159	24%	
208	159	24%	
17.2	7.4	57%	

(単位:億人民元) <現地通貨での業績>			
'08 3Q	'09. 3Q	増減率	
12.3	12.6	+ 3%	
18.6	17.7	5%	
3.3	3.5	+ 8%	

米国: 需要の大幅な減少の影響を受け、売上・利益ともに前年割れが続く

中国: 外部顧客向け売上(現地通貨)は、+ 3%まで回復

どちらも為替の影響で円ベースでは大きく売り上げ減少。

'09年度通期計画 (修正)

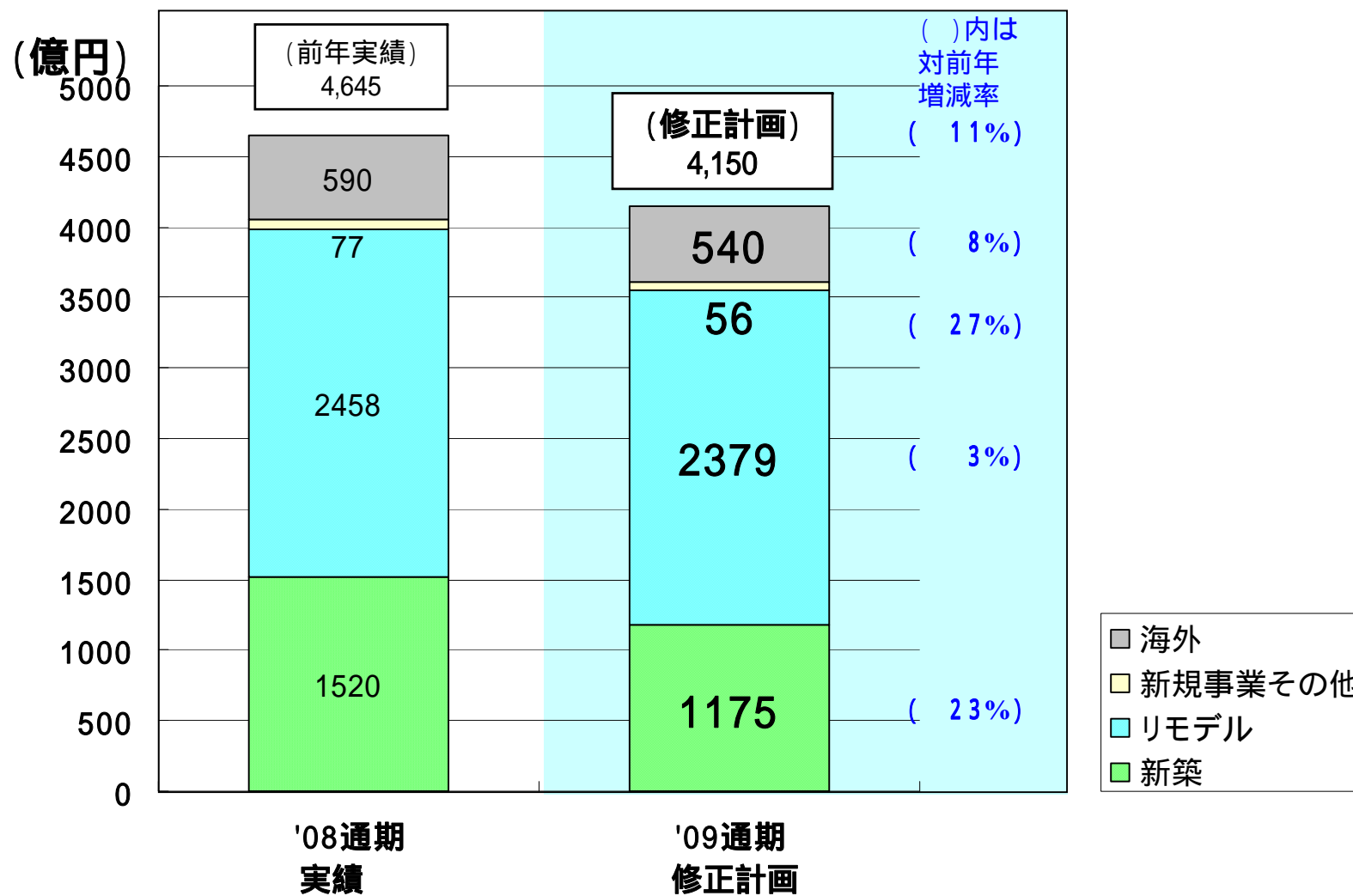
TOTO

単位:億円(未満は切り捨て)

	'08年度 実績	'09年度 計画	'09年度			対前年 増減額 (増減率)
			上期実績	下期計画	合計	
売上高	4,645	4,180	2,046	2,104	4,150	495 (11%)
営業利益	65	50	15	70	55	10 (15%)
経常利益	59	40	15	75	60	+ 1 (+ 1%)
特別損益	204	14	9	9	18	+186
当期純利益	262	10	46	46	0	+262

売上は下方修正、利益は上方修正

需要分野別売上高(通期計画 修正)



営業利益の増減益要因 (通期計画 修正)

TOTO

(前年差異)

<単位:億円>

増減要因		09年度 計画	09年度 修正計画
プラス 要因	コストダウン	+ 39	+ 59
	経費削減(販管費など)	+ 110	+ 112
	原材料の値下がり	+ 13	+ 12
	価格改定	+ 11	+ 13
	販売強化投資の抑制	+ 22	+ 22
マイナス 要因	新築売上高の減少	101	105
	リモデル売上高の減少	22	28
	海外売上高の減少	13	13
	販売価格の下落・普及品の拡大	23	33
	在庫削減などによる減産損	30	32
	運用収益減による退職金コスト増	14	14
	その他	9	4
合計		16	11

このプレゼンテーション資料は、2010年1月29日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。
TOTO